



## 「R&Iファンド大賞2019」を受賞！

### 「野村未来トレンド発見ファンドBコース（為替ヘッジなし）愛称：先見の明」

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社が運用する「野村未来トレンド発見ファンドBコース（為替ヘッジなし）愛称：先見の明」（以下、当ファンド）が、株式会社格付投資情報センター（R&I）が選定する「R&Iファンド大賞2019」のNISA／外国株式部門で『最優秀ファンド賞』を、投資信託／外国株式部門で『優秀ファンド賞』を受賞致しました。



今回の受賞を励みに、お客さまの長期的な資産形成に貢献できるよう一層の努力をして参りますので、引き続き当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「R & I 大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 2 号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

#### 選考方法・対象

「投資信託部門」、「iDeCo・DC部門」、「NISA部門」、「確定給付年金部門」では2017、2018、2019年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2019年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。「投資信託10年部門」では、2014、2019年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用いた定量評価および2019年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2019年3月末における10年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。「投資信託20年部門」では、2009、2019年それぞれの3月末における10年間の運用実績データを用いた定量評価および2019年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2019年3月末における20年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託部門」、「iDeCo・DC部門」、「NISA部門」、「投資信託10年部門」、「投資信託20年部門」ではシャープ・レシオを採用、「確定給付年金部門」では定量評価にインフォメーション・レシオを採用している。表彰対象は償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託部門」、「NISA部門」、「投資信託10年部門」、「投資信託20年部門」では残高が30億円以上かつカテゴリー内で上位50%以上、「iDeCo・DC部門」では残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上の条件を満たすファンドとしている。「投資信託／総合部門」では、2019年3月末において残高30億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間のシャープ・レシオの残高加重平均値によるランキングに基づき表彰している。「投資信託部門」、「投資信託／総合部門」、「投資信託10年部門」および「投資信託20年部門」は確定拠出年金専用ファンド、SMA・ラップ口座専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「iDeCo・DC部門」はiDeCo・DC（個人型および企業型確定拠出年金）向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「NISA部門」はR&I独自の「NISAスクリーニング」基準を満たした国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金部門」は『R&Iユニバースデータサービス』に登録されている運用商品を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。

上記は過去の一定期間の実績が評価されたものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ポイント



1. マルチテーマ戦略が奏功して高パフォーマンスを実現！
2. 適切な成長テーマを選択することが重要
3. 現在注目のテーマは「AI／クラウド」や「アウトソーシング」

## 1. マルチテーマ戦略が奏功して高パフォーマンスを実現！

### マルチテーマ戦略が奏功

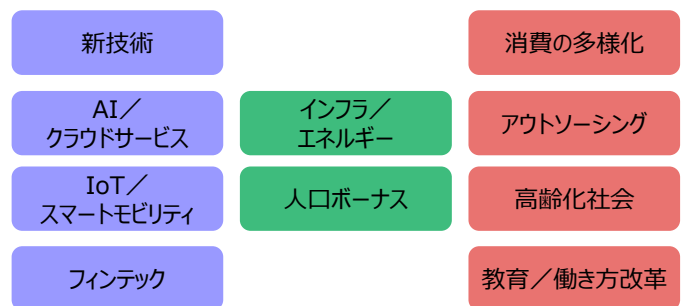
「野村未来トレンド発見ファンドBコース（為替ヘッジなし）愛称：先見の明」は、“マルチテーマ戦略”を採用しています。1つの成長テーマに特化せず、その時々投資環境にふさわしい複数の成長テーマを選択し、投資成果に結びつけることを目標としています。

一般的なテーマファンドは、1つのテーマに特化することが多く、テーマが相場に合うか否かなど投資タイミングの影響を大きく受けるため、タイミング次第で運用成果が大きく変動します。当ファンドでは、複数の成長テーマを設定して、ファンドマネージャーが相場の局面ごとにテーマを選択し、各テーマごとに銘柄を厳選します。

ここまでのパフォーマンスは右図の通り良好です。相場にマッチした適切なテーマを選択し、投資配分を機動的に見直してきたことで、高いパフォーマンスを実現できました。

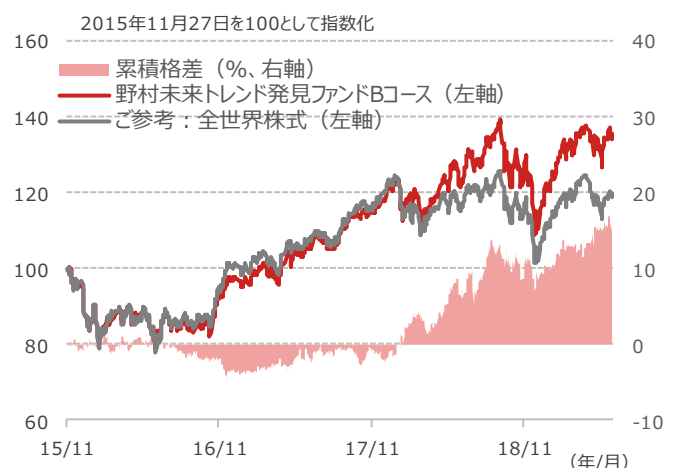
また、投資信託の評価機関「モーニングスター」のレーティングでも、「国際株式・北米」カテゴリーにおいて6月末時点で5つ星の最高評価をいただくなど、他の評価機関からもご評価いただいています。

### 現在の成長テーマ



2019年6月末現在  
上記は記載時点で選定された成長テーマであり、今後変更となる可能性があります。  
(出所) 野村アセットマネジメント作成

### 基準価額（分配金再投資）の推移



期間：2015年11月27日～2019年6月28日、日次  
全世界株式：MSCI All Country World Index（配当込み、米ドル建て指数を弊社が円換算）  
(出所) ブルームバーグなどのデータを基に野村アセットマネジメント作成

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 2. 適切な成長テーマを選択することが重要

### 成長テーマを局面ごとに入れ替える

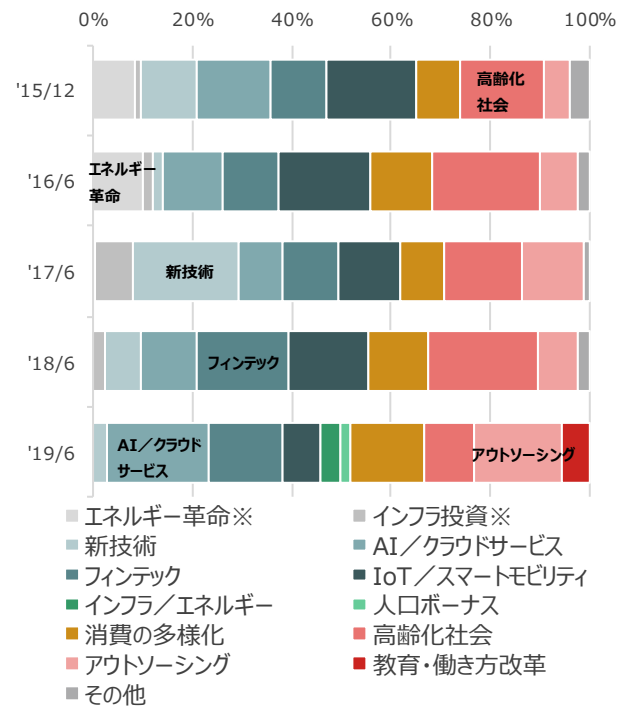
好パフォーマンスの主因は、局面ごとに適切な成長テーマを選択できたことです。注目される成長テーマをできるだけ早期に取り込み、市場の関心が高まり、株価が割高になるにしたがって配分を下げていきました。

当ファンドでは、予め複数テーマ（現時点で10個）を用意し、その時々での投資環境に合ったテーマ選択を行ってきました。ファンドの設定間もない2016年頃は米シェール開発に関心が高まったことで「エネルギー革命」に注目し、2017年頃は人工知能への関心の高まりなどを受けて半導体関連を中心に「新技術」に大きく投資しました。2018年頃は「フィンテック」、そして、最近では貿易戦争の影響を受けにくい「AI/クラウドサービス」や「アウトソーシング」への配分を増やしました。一方、確実に起こる“人口ピラミッドの変化”に着目して高配分を継続してきた「高齢化社会」については、直近では割高となったため大きく配分を減らしました。

### 成長テーマと銘柄発掘

成長テーマを選定した後に具体的な銘柄選択に移りますが、この段階では銘柄発掘が肝になります。例えば、「人口ボーナス」において航空旅客数増大ストーリーを取り挙げてみると、①世界的に航空旅客数が増える、②航空機需要が増える、③航空機部品需要が増える、④パイロット育成ニーズが増える、といった一連の流れが浮かんできます。これら①～④のシナリオで恩恵を受ける企業を注意深く発掘することでパフォーマンスを高めるのです。

### 機動的に変更してきた成長テーマ別投資配分推移



期間：2015年12月末～2019年6月末

(注) 上記はマザーファンドの組入株式部分より算出した投資配分（純資産比）です。

※過去に選定されていた成長テーマであり、2018年7月まで。

(出所) 野村アセットマネジメント作成

### テーマリサーチの一例

①世界的に航空旅客数が増える

↓  
銘柄発掘：空港、旅行会社

②航空機需要が増える

↓  
銘柄発掘：航空機メーカー

③航空機部品需要が増える

↓  
銘柄発掘：航空機部品メーカー  
航空機システムサプライヤー

④パイロット育成ニーズが増える

↓  
銘柄発掘：パイロット訓練サービス提供会社

(出所) 野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 3. 現在注目のテーマは「AI/クラウド」や「アウトソーシング」

#### ビッグデータが「AI/クラウド」を伸ばす

AI（人工知能）の普及が急速に進んでいます。以下3つが、現在のAIブームが“ブーム倒れに終わらない”背景とされています。

①ビッグデータ、②ディープラーニング、③ハードウェア（GPU（半導体）など）

これらをレストランに例えてみると、その魅力が理解しやすいでしょう。①ビッグデータは、“良い材料をたくさん仕入れること”にあたります。AIにおいてはクラウドと呼ばれるデータの倉庫に格納される各種データが爆発的に増加していて、関連ビジネスへの恩恵が大きなものになっています。

②ディープラーニングは、“良いシェフ”にあたります。せっかく良い材料を調達しても、適切な方法で調理されなければ良い料理はできないということです。これら関連企業は意外に少ないのですが、データ処理用の新言語やデータベースの開発などを行なう企業などに恩恵があると考えられます。

③ハードウェアは、“良いシェフが使いたがる良い調理器具”にあたります。現在はAIの計算に適したGPUの普及が進んでおり、また、今後はカスタマイズ型半導体へのニーズが高まるものと考えられます。

#### 「アウトソーシング」は過渡期に

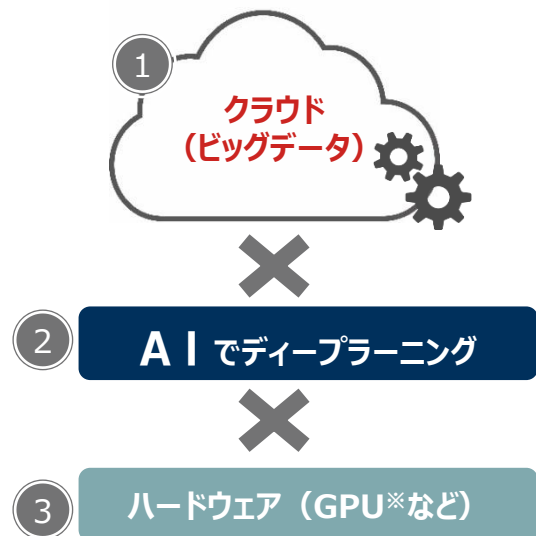
また、「アウトソーシング」も注目のテーマです。アウトソースを“外注”と直訳してしまうと、地味な印象を受けるかもしれません。しかし、アウトソースは実は進化しています。単純作業の“外注”から、“オフバランス化（コア事業への専念）や付加価値の創造”への過渡期にあり、多くの投資機会があると考えています。

#### テーマ別配分

テーマ	純資産比
AI/クラウドサービス	19.6%
アウトソーシング	16.6%
消費の多様化	14.2%
フィンテック	14.1%
高齢化社会	9.8%
IoT/スマートモビリティ	7.1%
教育・働き方改革	5.4%
インフラ/エネルギー	3.8%
新技術	2.6%
人口ボーナス	1.8%
その他の資産	5.0%
合計	100.0%

2019年6月末現在  
（出所）野村アセットマネジメント作成

#### AIブームのイメージ図



※負荷の高いAI計算を低コストで行なうための演算装置。  
元々はゲーム描画などの用途に用いられていた。

（作成）野村アセットマネジメント

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## Fund manager Voice ～運用担当者より～



中山貴裕 シニアインベストメントオフィサー

### どうしたら“好パフォーマンスが期待できるテーマファンドを作れるか”、議論を重ねてきたファンド

当ファンドは、弊社の運用部のメンバーで議論を重ね、考案・開発したファンドです。後述するように、私は運用者として企業の“光と陰”を目の当たりにしてきました。

例えば、1999～2000年頃のドットコムバブルの時期が強く記憶に残っています。当時私は日本の小型株を担当していたのですが、ITやバイオテクノロジー系の銘柄を中心に、キャッシュフローなどの“実態”が無いにも関わらず高値で買われている銘柄を目にしました。その後どうなったのかはご案内の通りです。このような経験から、単に“ニュースで盛り上がっているだけ”で特定のテーマ関連企業に投資することの危うさ、景気サイクルを乗り越えて成長する企業探しの大切さを身をもって経験しました。

その経験をもとに、当戦略（未来トレンド発見ファンド）を立案する際、そもそも複数の成長テーマを想定するということがコンセプトの中心に据えま

#### 運用調査経験年数：19年

野村アセット・マネジメント 東京本社にて運用  
グローバル株式グループ 投資責任者  
「野村未来トレンド発見ファンド」運用責任者

#### ○好きなスポーツ

ゴルフ

#### ○普段の過ごし方

米国で何かあると、夜中3時に目が覚め株価をチェックする日々

した。1つのテーマに絞ってしまうと、そのテーマの賞味期限が終わった際に、どこにも逃げ場がなくなるからです。市況に応じて“今はどのテーマが本当に買いなのか”を選別する仕組みを当ファンドは持っています。

### コンセプトは実現化され、外部評価機関から高い評価を頂戴するステージに！

当初、このコンセプトは、“コンセプト倒れ”に終わる危険もありました。我々が判断を誤り、その時々成長テーマを上手く選択できない恐れがあったからです。

ただ現在では、その心配は杞憂に終わったと感じています。良好なパフォーマンスが何よりの証拠です。今回R&Iから賞を頂いたり、世界的なファンド評価機関や、実際の機関投資家のお客様からも高い評価を頂戴することで、我々のやってきたことが間違いではなかったのだと自信を深めつつ、かつ謙虚になりながら、日々お客様の資産を運用させて頂いております。

<当資料で使用した指数の著作権等について>

●MSCI All Country World IndexはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「野村未来トレンド発見ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）」

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
  - 新興国を含む世界各国の株式(DR(預託証券)<sup>※1</sup>を含みます。)を実質的な主要投資対象<sup>※2</sup>とします。
    - ※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
    - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - 償還金額等が企業の株式の株価に連動する効果を有するリンク債、金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株価指数連動型上場投資信託証券(ETF)ならびに不動産投資信託証券(REIT)および企業の株式の株価に係るオプションを表示する証券または証書も含まれます。
  - 銘柄選定にあたっては、グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマ<sup>※</sup>を複数選定し、関連する銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。
    - ※ 「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から成長テーマの選定を行なうことを基本とします。
    - ◆ 成長テーマは随時見直しを行ない、それに伴い組入銘柄の変更を行ないます。
  - 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。
  - 「Aコース(為替ヘッジあり)」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース(為替ヘッジなし)」は原則として為替ヘッジを行ないません。
  - ファンドは「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
  - 「Aコース(為替ヘッジあり)」「Bコース(為替ヘッジなし)」間でスイッチングができます。
  - 原則、毎年11月14日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
    - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
- \* ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 「野村未来トレンド発見ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）」

## 【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。 ※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

## 【お申込メモ】

- 信託期間 2025年11月14日まで  
【Aコース（為替ヘッジあり）】2017年6月2日設定  
【Bコース（為替ヘッジなし）】2015年11月27日設定
- 決算日および収益分配 年1回の決算時（原則、11月14日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万円以上1口単位（当初元本1口＝1円）  
または1万円以上1円単位  
（ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。）  
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース（為替ヘッジあり）」「Bコース（為替ヘッジなし）」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ロンドン証券取引所 ・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 【当ファンドに係る費用】

(2019年7月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 * 詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.674%（税抜年1.55%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

## 《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104

（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。



# 野村未来トレンド発見ファンド（愛称:先見の明） Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社琉球銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第2号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。